

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00132)

事務事業名称	老人ホームの入所	款	04	項	01	目	02	事業	001	整理番号	142
現担当課名	高齢者在宅支援課	係名	施設入所係					連絡先電話番号	3253	昨年度整理番号	149
上位施策No・施策名	15 要介護高齢者の住まいと介護施設の整備							予算事業区分	既定事業		
事業開始											
令和 3年度担当課名	高齢者在宅支援課							事業評価区分	一般		

令和 3年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	原則65歳以上の高齢者で、養護老人ホーム及び特別養護老人ホームの入所措置が必要な区民、及び特別養護老人ホームの入所を希望する区民。	根拠法令等	(1) 老人福祉法第6条、11条、21条 (2) 杉並区老人福祉法施行細則
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	要援護高齢者の養護老人ホーム・特別養護老人ホームへの入所措置により、経済上、環境上の日常生活の安定や高齢者の虐待防止と権利を保護することができる。入所申込者の優先度評価を行うことで必要性の高い高齢者から特別養護老人ホームに入所することができる。	活動指標	養護老人ホーム措置入所者数 特別養護老人ホーム入所者数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	要援護高齢者の実態を把握し、区入所判定委員会で措置入所の要否を判定し、養護老人ホーム等へ入所措置する。特別養護老人ホーム入所申込者について協力施設の委託を受けて入所指針に基づき優先度第一次評価を実施し、その結果を施設と申込者に通知する。協力施設において第二次評価を行い、入所者を決定する。	指標説明	養護老人ホーム待機者に占める措置入所者の割合 当該年度措置者数 ÷ (前年度末待機者数 + 当該年度新規申請者数) 特別養護老人ホーム入所希望者 (優先度A) に占める入所者の割合 当該年度入所者数 ÷ 前年度末優先度A入所希望者数

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1 人	121	120	115	120	105	120	87.5	94.3	
活動指標 (2)	2 人	683	400	531	400	658	500	164.5		
成果指標 (1)	3 %	114	80	80	80	84	80	105.0		
成果指標 (2)	4 %	150	60	124	60	158	60	263.3		
事業費	5 千円	254,484	248,487	239,691	247,958	233,810	251,496	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
(内) 委託費	7 千円	1,400	1,315	1,170	1,299	1,231	1,296			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	4.07	4.12	4.11	4.50	5.24	4.90		
	上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00	0.00		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	35,482	35,918	34,947	38,264	43,717	40,881		
	上記以外の職員	11 千円	0	0	3,628	3,628	3,675	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	289,966	284,405	278,266	289,850	281,202	292,377			
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	2,396,413	2,370,042	2,419,704	2,415,417	2,678,114	2,436,475			
財源	受益者負担分	14 千円	45,751	41,319	41,575	38,129	42,098	41,089		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	45,751	41,319	41,575	38,129	42,098	41,089		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	244,215	243,086	236,691	251,721	239,104	251,288			
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	15.8	14.5	14.9	13.2	15.0	14.1			

令和 4年度杉並区事務事業評価表（2）

令和 3年度 事業実施状況（D o）

整理番号 142

	内 容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	養護老人ホーム委託措置	1,330	人	231,431
	特別養護老人ホーム委託措置	7	人	723
	養護老人ホーム措置費支払事務委託			654
	その他（措置事務費、移送費、特別養護老人ホーム入所調整事務費ほか）			1,002
事業実績	<p>養護老人ホーム20施設に延べ1,330人を入所措置しています。令和3年度中、新規入所者は11人、退所者は21人でした。令和3年度末の措置入所者は105人です。また、特別養護老人ホーム2施設に延べ7人を入所措置しました。</p> <p>特別養護老人ホームへ新規入所申請及び更新申請に関し、1,361件の第一次評価を行い通知しました。（辞退や介護度変更による通知も含まれます。）</p>			

令和 3年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	<p>養護老人ホームは、入所者の心身機能や知識経験を十分に発揮できるよう、スタッフが見守りながら自立した生活を送る支援をしています。しかし、入所後、高齢化や心身状態の低下に伴い、介護サービスを必要とする入所者や、他の介護施設に移る方も増加しています。</p> <p>特別養護老人ホームは、平成15年度に杉並区入所指針を策定してから、改定を重ね、優先度の高い高齢者が入所できるようになりました。また、新規施設の開設に伴い、待機者は年々減少傾向にあります。また、緊急性の高い高齢者がより早く確実に入所できるよう入所指針の改定をし、令和2年4月から新しい指針での運用を始めています。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>区民の5人に一人が65歳以上の高齢者になり、単身や高齢者のみの世帯の割合も増えることが予測されます。また、病気や身体的な不自由を感じている高齢者も増加しているため、特別養護老人ホームの入所希望や、養護老人ホームの入所措置が今後も増加すると考えます。</p> <p>介護者の状態については、介護する側が高齢でかつ病気を抱えている方も多く、また就労等により在宅介護が非常に難しい状況で、施設入所を早急に希望する方も増加すると考えられます。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>養護老人ホームへの入所措置は、減少することは見込まれない状況です。また、虐待や立ち退き等の緊急措置についても迅速な対応で入所措置を行う必要があります。</p> <p>特別養護老人ホームについては、新規施設開設に伴い待機者は年々減少傾向ではありますが、緊急性の高い高齢者がより早く確実に入所できるよう、入所状況の検証・分析をしていくことが求められます。</p>
評価と課題	<p>養護老人ホームへの入所措置により、虐待・立ち退き等の緊急措置が必要な方を含め、自立した高齢者の生活の安定が図れました。また、入所後もご本人の事情や生活面の対応を求められるケースが増えていることから、入所後の様子の把握に努めていきます。</p> <p>特別養護老人ホームへの入所措置は、緊急で保護をし虐待防止と権利を保護することができました。今後も必要な方に速やかに入所措置を実施できるよう、在宅医療・生活支援センターと連携を図っていきます。また、区内新規施設1か所の開設があったこともあり、平均待機期間は5か月になりました。今後は、特別養護老人ホームの整備計画の策定材料となるよう、特別養護老人ホームの入所状況等の検証・分析を行っていきます。</p>

令和 5年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	<p>養護老人ホームの入所相談は、高齢者人口の増加に伴い増加傾向ですが、事業規模は現状を維持していきます。</p> <p>特別養護老人ホームは、申込を希望される区民に対し、わかりやすい案内ができるように努め、優先度の高い高齢者の早期入所を促進します。令和4年度は、杉並区高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画策定に向けた高齢者実態調査において、特養入所希望者の実態及びニーズの把握に努めていきます。</p>	

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00133)

事務事業名称	認知症高齢者グループホーム施設管理			款	04	項	01	目	02	事業	002	整理番号	143
現担当課名	高齢者施策課		係名	施設整備推進担当係			連絡先電話番号	3282		昨年度整理番号	150		
上位施策No・施策名	15 要介護高齢者の住まいと介護施設の整備							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成20年度												
令和 3年度担当課名	高齢者施策課							事業評価区分	施設維持管理				

令和 3年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	区施設に設置されたグループホーム及びその運営事業者	根拠法令等 (1) 介護保険法第8条第20項 (2) 消防法
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	高齢者グループホームの利用者が快適に利用・適切に運営できるよう、施設の維持管理を行う。	活動指標 指標名 (1) 入所者1人あたりの維持管理負担費 指標説明 指標名 (2)
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	害虫駆除、消防設備保守点検、建築設備点検等を委託により実施する。 その他必要に応じて施設の維持管理を行う。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 千円	11	56	55	14	14	14	100.0	99.2
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3								
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	102	611	551	123	122	127	特記事項	
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	施設の老朽化に伴い修繕頻度が増加していたことから、令和2年度は一定の金額を当初予算に計上していましたが、令和3年度は必要に応じて対応することとなっていたことから事業費が減少しています。	
(内) 委託費	7 千円	102	111	111	123	122	127		
職員数	8 人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10		
上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	10 千円	872	872	850	850	834	834		
上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	974	1,483	1,401	973	956	961		
単位当たりコスト ((12-6)÷1)	13 円	88,545	26,482	25,473	69,500	68,286	68,643		
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0	0	
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	974	1,483	1,401	973	956	961		
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

令和 4年度杉並区事務事業評価表（2）

令和 3年度 事業実施状況（D o）

整理番号 143

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	本天沼グループホーム施設の建物保守点検委託		1	所
	その他（ ）			
事業実績	本天沼グループホーム施設の維持管理のため、害虫駆除、消防設備保守点検、建物設備点検等を行いました。			

令和 3年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	
評価と課題	<p>昨年度と同様、経常的な施設の維持管理については、建物設備保守点検等を行い、必要に応じた修繕を行う等適切に管理ができています。</p> <p>今後は建物の築年数の経過に伴う修繕の増加が予想されるため、引き続き施設側とも連携を取りつつ、建物の維持管理を適切に行います。</p>

令和 5年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>令和3年度は区負担による修繕は行いませんでしたが、築年数の経過による建物の老朽化が進んでおり、今後、区が実施すべき修繕案件が増加すると考えられます。そのため、修繕が必要な場合は営繕課や施設と連携を取りつつ必要な予算を計上し、適切に施設維持管理を進めることで、施設の長寿命化を図ります。</p>	

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00134)

事務事業名称	介護強化型ケアハウス施設管理			款	04	項	01	目	02	事業	004	整理番号	144
現担当課名	高齢者施策課		係名	施設整備推進担当係			連絡先電話番号	3282		昨年度整理番号	151		
上位施策No・施策名	15 要介護高齢者の住まいと介護施設の整備							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成14年度												
令和 3年度担当課名	高齢者施策課							事業評価区分	施設維持管理				

令和 3年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	特別養護老人ホーム等に入所を希望している要介護高齢者で、比較的介護度の低い方とその家族	根拠法令等 (1) 民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律 (2) 老人福祉法第20条の6
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	家庭での介護が困難な要介護高齢者が介護強化型ケアハウスに入所し、必要な介護が受けられるようにする。介護家族の負担を軽減する。	活動指標 指標名 (1) 施設整備定員数 (累計) 指標説明 指標名 (2)
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	民間事業者の資金や能力を活用したPFIの手法により整備した施設を、区が選定した事業者が運営・管理し、適切な介護サービスを区民に提供する。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 人	110	110	110	110	110	110	100.0	96.0
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3								
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	9,945	32,212	31,979	13,611	13,062	11,652	特記事項	
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	令和2年度にケアハウス今川で実施したナースコール・電話設備工事 (15,650千円) のような大規模な工事等がなかったため、令和3年度は事業費が減少しています。	
(内) 委託費	7 千円	462	17,179	17,178	3,239	2,692	462		
職員数	8 人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.35	0.20		
上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	10 千円	1,744	1,744	1,701	1,701	2,920	1,669		
上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	11,689	33,956	33,680	15,312	15,982	13,321		
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	106,264	308,691	306,182	139,200	145,291	121,100		
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0	0	
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	11,689	33,956	33,680	15,312	15,982	13,321		
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

令和 4年度杉並区事務事業評価表（2）

令和 3年度 事業実施状況（D o）

整理番号 144

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	介護強化型ケアハウス機械浴槽設備購入			
	介護強化型ケアハウス浴槽改修工事			2,200
	介護強化型ケアハウスのエアコン取り替え修理等	13	台	2,067
	杉並区有地建築物等定期点検業務委託	2	所	492
	その他（介護強化型ケアハウス電気温水器取り替え修理等）			5,437
事業実績	ニチイケアハウス井草において、機械浴槽設備の購入及び浴槽改修工事を実施したほか、施設の昇降機や建築設備定期点検などを実施しました。また、ニチイケアハウス井草及びベネッセケアハウス今川で居室用エアコン・電気温水器等の取換修理を行いました。			

令和 3年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	
評価と課題	<p>比較的要介護度の低い高齢者の受け皿として、高齢者の住まいの選択肢を広げているこの施設の果たす役割は大きいものがあります。また、P F I 事業として実施することにより、民間事業者の活力等を導入し、施設を整備してきました。経常的な施設の維持管理については、建物等定期検査を実施の上、必要に応じて修繕を行う等適切に管理ができています。</p> <p>今後も建物の築年数の経過に伴い修繕の増加が予想されます。適切に管理するためにも、計画的に修繕等を行い、極力入居者の生活に影響が生じないようにしていく必要があります。また、ベネッセケアハウス今川については、令和6年2月に運営契約期間が満了するため、今後の方針について検討する必要があります。</p>

令和 5年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）・実施主体の見直し
予算の方向性の理由・内容	建物の経年劣化に伴い修繕等が徐々に増加しています。令和4年度についても、令和3年度と同様に過去の実績を基に予算の増額措置をしました。今後の見通しですが、令和6年2月末にベネッセケアハウス今川が運営契約期間が満了するため、今後の方針を検討の上、必要な予算を令和6年度に計上する必要があります。一方、ニチイケアハウス井草は運営契約期間が満了を迎えるのは令和8年2月とまだ少し先であり、当面の間は今まで同様に修繕の増加が見込まれることから適切に予算を計上し、施設の維持管理に努めます。	

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00135)

事務事業名称	介護老人保健施設用地管理			款	04	項	01	目	02	事業	005	整理番号	145
現担当課名	高齢者施策課		係名	施設整備推進担当係			連絡先電話番号	3282		昨年度整理番号	152		
上位施策No・施策名	15 要介護高齢者の住まいと介護施設の整備							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成14年度												
令和 3年度担当課名	高齢者施策課							事業評価区分	施設維持管理				

令和 3年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	要介護高齢者とその家族	根拠法令等	(1) 介護保険法第8条第25項 (2) 借地借家法第22条
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	リハビリテーション、看護、介護等の医療ケアと日常生活上のサービスを併せて提供することにより、高齢者の自立を支援し、家庭復帰と在宅ケアを目指すことができるようにする。	活動指標	用地確保のための賃貸借件数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	独立行政法人都市再生機構が所有する敷地 (桃井三丁目) を、区が一般定期借地権設定契約により賃借し、介護老人保健施設シダ・ウォークの運営を行う社会医療法人河北医療財団に転貸する。	指標名 (1)	区内老人保健施設整備床数 (累計)
		指標説明	
		指標名 (2)	
		指標説明	
		成果指標	
		指標名 (1)	
		指標説明	
		指標名 (2)	
		指標説明	

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 所	1	1	1	1	1	1	100.0	100.0
活動指標 (2)	2 床	418	418	418	418	418	418	100.0	
成果指標 (1)	3								
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	23,864	23,864	23,864	24,031	24,031	24,087	特記事項	
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0		
(内) 委託費	7 千円	0	0	0	0	0	0		
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10		
	上記以外の職員	9 人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	872	872	850	850	834		
	上記以外の職員	11 千円	308	308	363	363	368		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	25,044	25,044	25,077	25,244	25,233	25,289		
単位当たりコスト ((12-6)÷1)	13 円	25,044,000	25,044,000	25,077,000	25,244,000	25,233,000	25,289,000		
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0	0	
差引: 一般財源 (12-18)	19 千円	25,044	25,044	25,077	25,244	25,233	25,289		
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

令和 4年度杉並区事務事業評価表（2）

令和 3年度 事業実施状況（D o）

整理番号 145

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	介護老人保健施設敷地転貸借		1	所
	その他（ ）			
事業実績	契約書に基づき、独立行政法人都市再生機構の所有地を社会医療法事河北医療財団に転貸借しました。			

令和 3年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	
評価と課題	一般定期借地権設定により、事業者は介護老人保健施設の安定的な運営が可能となっています。区は、50年間にわたる土地の転貸借の事務処理を的確に行っていきます。

令和 5年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	令和5年度も引き続き、契約書に基づき、独立行政法人都市再生機構の所有地を社会医療法人河北医療財団に転貸借し、施設の安定的な運営を支えていきます。	

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00137)

事務事業名称	高齢者保健福祉施策の推進				款	04	項	01	目	02	事業	006	整理番号	147	
現担当課名	高齢者施策課		係名	施設整備推進担当係		連絡先電話番号	3282		昨年度整理番号	154					
上位施策No・施策名	15 要介護高齢者の住まいと介護施設の整備								予算事業区分	既定事業					
事業開始	平成23年度	実行計画事業	目標	04	施策	15	計画事業	01	主要事業 (区政経営報告書掲載事業)						
令和 3年度担当課名	高齢者施策課								事業評価区分	一般					

令和 3年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	特別養護老人ホーム等に入所を希望している高齢者及びその家族 介護事業者	根拠法令等 (1) 老人福祉法 (2) 介護保険法
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	介護が必要な高齢者が、必要に応じて特別養護老人ホームに入所し適切な介護が受けられるようする。 要介護者の施設入所により、家族の介護負担が軽減されるようにする。 介護現場における職員の負担軽減と作業効率の向上を図るため、事業者の介護ロボット導入を支援する。	活動指標 指標名 (1) 介護ロボット導入事業者数 令和4年度以降 指標説明 介護ロボットを導入した事業者数 (累計・延べ数) 指標名 (2) 介護ロボット導入台数 (累計) 令和3年度まで
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	○南伊豆町との自治体間連携による特別養護老人ホームについて、南伊豆町及び運営事業者との連携のもと、円滑な区民の入居を図る。 ○入居後の生活について、入居者や家族に満足してもらえよう、事業者による運営を支援する。 区内施設において介護ロボットの導入に係る経費を助成する。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 具体化した自治体間連携による特別養護老人ホームの件数 指標説明 指標名 (2) 介護ロボット導入により負担軽減があった施設数の割合 令和4年度対象施設見直し予定 指標説明 区内特別養護老人ホーム及び認知症高齢者グループホーム数に対する介護ロボットを導入した延べ施設数の割合

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1 所	11	13	13	16	18	19	112.5	89.0	
活動指標 (2)	2 台	30	38	36	48	49	0	102.1		
成果指標 (1)	3 件	1	1	1	1	1	1	100.0		
成果指標 (2)	4	0.19	0.24	0.22	0.35	0.28	0.00	80.0		
事業費	5 千円	3,293	4,010	1,517	3,755	3,341	0	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	新たな実行計画において、介護ロボット導入に関する目標値を導入台数から導入事業者数に変更したため、活動指標が令和3年度までと4年度以降で変更になります。合わせて成果指標も令和4年度以降に変更予定です。		
(内) 委託費	7 千円	0	0	0	115	78	0			
職員数	8 人	0.50	0.50	0.50	0.50	0.70	0.70			
上記以外の職員	9 人	0.10	0.10	0.10	0.00	0.00	0.00			
人件費	10 千円	4,359	4,359	4,252	4,252	5,840	5,840			
上記以外の職員	11 千円	308	308	363	0	0	0			
総事業費 (5+10+11)	12 千円	7,960	8,677	6,132	8,007	9,181	5,840			
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	723,636	667,462	471,692	500,438	510,056	307,368			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0			0
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0			0
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	12	5			0
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	12	5	0		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	7,960	8,677	6,132	7,995	9,176	5,840			
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

令和 4年度杉並区事務事業評価表（2）

令和 3年度 事業実施状況（D o）

整理番号 147

	内 容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	介護ロボット導入経費補助金の支出	5	所	2,993
	高齢者インフルエンザ及び肺炎球菌予防接種業務委託	1	所	78
	その他（消耗品の購入等）			270
事業実績	<p>南伊豆町との自治体間連携による特別養護老人ホーム「エクレスシア南伊豆」の運営事業者が実施した区民等への周知活動、入所者が安心して暮らせるための取り組みを支援しました。また、予防接種費用のうち、インフルエンザ予防接種は地元負担分を、肺炎球菌についてはさらに自己負担分も含めて区が負担しました。</p> <p>この他、介護現場における職員の負担軽減と作業効率の向上を図るため、区内介護事業所5所に対し、計13台分の介護ロボットの導入経費補助を行いました。</p>			

令和 3年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	<p>全国初となる自治体間連携による特別養護老人ホーム「エクレスシア南伊豆」を南伊豆町に平成30年3月に開設しました。開設から4年が経過し、順調に運営されています。</p> <p>介護事業所における職員の充足状況については、令和2年度介護労働実態調査によれば60.8%の事業所が職員の不足を訴えている状況です。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>平成30年3月に開設したエクレスシア南伊豆は、令和3年度末時点で38名の杉並区民が入所しています。引き続き区民等への周知を行うとともに、入居者が安心して暮らせるよう、区、静岡県、南伊豆町及び事業者が連携して継続的な支援を実施していきます。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>全国初となる自治体間連携による特別養護老人ホーム「エクレスシア南伊豆」は平成30年3月に開設しました。介護ロボットについては毎年事業者から一定の申請があり、最終的に導入台数は累計で49台となり、目標を達成しました。</p>
評価と課題	<p>エクレスシア南伊豆については、令和3年度は令和2年度同様、新型コロナウイルス感染症の影響により、入居希望者やケアマネを対象としたバスツアーや入所相談会などのイベントを実施することができず、コロナ禍以前に実施していた周知活動が難しい年となりました。一方で、区立保育園児が作成した張りぼての展示やオンライン交流会等、感染リスクの少ない取組については実施することができました。今後も入所者支援及び入所促進につながる取り組みについて検討・実施していきます。</p> <p>介護ロボットについては、令和3年度は5事業者に対し合計13台の介護ロボットを導入することができました。今後も現場スタッフの負担軽減を図るため、より多くの事業者に補助制度の周知を図り、導入を促進していきます。</p>

令和 5年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	<p>エクレスシア南伊豆の入居者が安心して生活できるよう、また、全国初の取組として区が責任を持って進めて行くため、引き続き南伊豆町や関係機関と連携して事業者の安定した運営を支援していきます。</p> <p>介護ロボットの導入についても、介護現場の負担軽減に効果があることから、今後も実行計画に基づき、着実に導入を進めていきます。</p>	

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00228)

事務事業名称	特別養護老人ホーム等の建設助成				款 04 項 01 目 07 事業 001	整理番号	220	
現担当課名	高齢者施策課	係名	施設整備推進担当係		連絡先電話番号	3282	昨年度整理番号	234
上位施策No・施策名	15 要介護高齢者の住まいと介護施設の整備				予算事業区分	既定事業		
事業開始	昭和60年度	実行計画事業	目標 04	施策 15	計画事業 01	主要事業 (区政経営報告書掲載事業)		
令和 3年度担当課名	高齢者施策課				事業評価区分	一般		

令和 3年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	特別養護老人ホーム等の高齢者入所施設を建設・運営する社会福祉法人	根拠法令等 (1) (2)	社会福祉法第58条 社会福祉法人に対する助成の手続きに関する条例及び同施行規則
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	介護が必要な高齢者が、必要に応じて特別養護老人ホームに入所し、適切な介護が受けられるようにする。要介護者の施設入所により、家族の介護負担が軽減されるようにする。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	区内特別養護老人ホーム施設数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	特別養護老人ホーム等の高齢者入所施設を区内に建設する社会福祉法人に対して建設費の助成及び独立行政法人福祉医療機構借入金の償還助成を行う。特別養護老人ホームを建設・運営する社会福祉法人に対し、円滑な施設の開設を支援するために、開設準備に要する経費の一部助成を行う。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	特別養護老人ホーム確保定員 杉並区民が優先的に入所可能な定員数 区内特別養護老人ホーム整備率 区内特別養護老人ホーム定員数を高齢者人口で除した割合

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 所	21	22	22	23	23	23	100.0	99.7
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3 人	2,136	2,220	2,220	2,400	2,400	2,400	100.0	
成果指標 (2)	4 %	1.57	1.61	1.68	1.82	1.82	0.00	100.0	
事業費	5 千円	561,775	626,258	625,258	391,381	390,238	102,098	特記事項	
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	区内最大級の天沼三丁目区有地に整備した特別養護老人ホーム (フェニックス杉並) の工事出来高が令和2年は64%だったのに対し、令和3年度は35%だったことから事業費は減となっています。成果指標の「特別養護老人ホーム整備率」の令和4年度目標値については、当面の間、特別養護老人ホームの新規整備計画がないことから設定していません。	
(内) 委託費	7 千円	0	0	0	0	0	0		
職員数	8 人	2.00	1.60	1.60	1.60	1.70	1.60		
上記以外の職員	9 人	0.15	0.15	0.15	0.25	0.25	0.25		
人件費	10 千円	17,436	13,949	13,605	13,605	14,183	13,349		
上記以外の職員	11 千円	462	462	544	907	919	919		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	579,673	640,669	639,407	405,893	405,340	116,366		
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	27,603,476	29,121,318	29,063,955	17,647,522	17,623,478	5,059,391		
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	184,956	128,000	128,000	70,000	70,000		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	184,956	128,000	128,000	70,000	70,000	0	
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	394,717	512,669	511,407	335,893	335,340	116,366		
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

令和 4年度杉並区事務事業評価表（2）

令和 3年度 事業実施状況（D o）

整理番号 220

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	特別養護老人ホームの建設助成（償還助成）	10	所	162,638
特別養護老人ホームの建設助成（整備費補助）	1	所	226,800	
特別養護老人ホーム開設準備経費補助	1	所	800	
その他（ ）				

事業実績

独立行政法人福祉医療機構から建設費を借り入れた区内10施設の運営事業者に対し、償還の助成を行いました。また、天沼三丁目区有地（旧荻窪税務署跡地）で施設整備を進めた事業者に対し、工事出来高に応じた建設費の助成を行うとともに、開設準備のための経費を助成しました。

令和 3年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	区内における高齢者人口は、昭和60年1月1日現在53,365人でしたが、令和4年1月1日現在は120,263人と増加し、今後もさらに増加すると見込まれています。 一方で、特別養護老人ホームの施設入所希望者は平成24年度末では1,944人でしたが、施設整備が進んだこともあり、令和3年度末は680人と大幅に減少しました。
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	令和3年12月に天沼三丁目区有地に特別養護老人ホームフェニックス杉並が開設し、平成24年度から10年間で合計1,093人分の特別養護老人ホームを整備した結果、緊急性の高い入所待機者は当面の間生じない見込みです。今後は最新の人口動態等に基づく需要予測を引き続き行いながら、施設整備の時期や規模などの具体化に向けて検討を継続していきます。
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	令和3年12月に天沼三丁目区有地に特別養護老人ホームフェニックス杉並が開設し、平成24年度からの整備量は合計1,093人となり、10年1,000床の目標を達成することができました。
評価と課題	令和3年12月に天沼三丁目区有地に特別養護老人ホームフェニックス杉並が開設し、平成24年度から整備した入所定員数は合計1,093人となり、目標を達成することができました。その結果、緊急性の高い入所待機者は当面の間生じない見込みとなっています。 今後は最新の人口動態等に基づく需要予測を引き続き行いながら、施設整備の時期や規模などの具体化に向けて検討を継続していきます。

令和 5年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	既存施設に対する償還金助成を適切に行いつつ、今後は最新の人口動態等に基づく需要予測を引き続き行いながら、令和6年度からの新たな計画の策定に向け、施設整備の時期や規模などの具体化に向けて検討を継続していきます。	

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00229)

事務事業名称	認知症高齢者グループホームの建設助成				款 04 項 01 目 07 事業 002	整理番号	221	
現担当課名	高齢者施策課	係名	施設整備推進担当係		連絡先電話番号	3282	昨年度整理番号	235
上位施策No・施策名	15 要介護高齢者の住まいと介護施設の整備				予算事業区分	既定事業		
事業開始	平成14年度	実行計画事業	目標 04	施策 15	計画事業 02	主要事業 (区政経営報告書掲載事業)		
令和 3年度担当課名	高齢者施策課				事業評価区分	一般		

令和 3年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	認知症高齢者グループホームを建設・運営する民間企業、社会福祉法人及び土地所有者等	根拠法令等 (1) (2)	介護保険法第8条20項 東京都認知症高齢者グループホーム整備費補助要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	比較的安定状態にある認知症高齢者が少人数で共同生活を送り、家庭的な環境のもとで、入浴・排せつ・食事などの介護や日常生活の世話及び機能訓練などが受けられるようにする。 また、介護している家族の負担を軽減する。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	認知症高齢者グループホーム整備定員数 (累計)
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	民間企業、社会福祉法人及び土地所有者等が整備する認知症高齢者グループホームに対し整備費の一部を補助する。 認知症高齢者グループホームを建設・運営する民間事業者等に対し、円滑な施設の開設を支援するために、開設準備に要する経費の一部助成を行う。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	認知症高齢者グループホーム整備率 認知症高齢者グループホーム定員数を高齢者人口で除した割合

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 人	654	654	651	672	651	669	96.9	
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3 %	0.54	0.54	0.54	0.55	0.54	0.55	98.2	
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	10,130	48,845	46,614	480	0	480	特記事項	
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	民間事業者に対し、認知症高齢者グループホームの整備や簡易陰圧装置設置に係る補助制度について周知、利用を促しましたが実績がなかったため減となっています。	
(内) 委託費	7 千円	0	168	48	168	0	168		
職員数	8 人	0.73	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70		
上記以外の職員	9 人	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25		
人件費	10 千円	6,364	6,103	5,952	5,952	5,840	5,840		
上記以外の職員	11 千円	770	770	907	907	919	919		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	17,264	55,718	53,473	7,339	6,759	7,239		
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	26,398	85,196	82,140	10,921	10,382	10,821		
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	10,126	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	10,126	0	0	0	0	0	
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	7,138	55,718	53,473	7,339	6,759	7,239		
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (2)

令和 3年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 221

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	実績なし			0
	その他 ()			
事業実績	<p>民間事業者に対し、認知症高齢者グループホームの新規整備や感染症の拡散防止に有効な簡易陰圧装置の設置に係る補助制度について周知を行いました。</p>			

令和 3年度 評価と課題 (C h e c k)

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 (期待・要望・苦情など)	<p>区内における後期高齢者人口は、平成14年1月1日38,576人から令和4年1月1日64,470人に、認知症高齢者は平成14年1月1日3,618人から、令和4年1月1日時点の数字については、新型コロナウイルス感染症対応のため、要介護認定において一部臨時的な取り扱いをしたことから正確な認知症高齢者数が算出できませんが、それでも10,586人 (他に認知症高齢者日常生活自立度不明者が約6,300人) と増加の一途を辿っています。</p>
事業の今後 (3 ~ 5 年) の予測と方向性	<p>区内における後期高齢者人口は引き続き増加すると予測されます。それに伴い認知症高齢者の増加も見込まれ、高齢者の状況に応じた各種サービスの需要が高まることが予想されます。</p>
計画 (目標値) に対する実績 (指標の分析等)	<p>令和2年度までは概ね目標に近い定員数を確保しており、また、事業者からの相談は複数あったものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響や人材確保が困難、整備候補地が補助対象地域外である等の理由から新規整備が進まず、目標値に達することはできませんでした。</p>
評価と課題	<p>民間事業者による区内での整備が進んできたため、令和3年度も引き続き地域バランスを勘案し、整備が進んでいない地域に限定して事業者の募集を行いました。また、人材確保が困難、整備候補地が補助対象地域外である等の理由から、新規の整備には至りませんでした。</p> <p>今後もコロナ禍の影響は続くと考えられるため、事業者の動向を注視しながら、新規施設の整備に係る建設助成の他、既存施設に対しても感染防止に係る補助事業に関する積極的な情報提供を行っていきます。</p>

令和 5年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>新たな実行計画に基づき着実に整備を進めるために、施設建設が可能な公有地の確保に努めます。また、民間力の活用を図るため、グループホームの理念や補助制度について、土地所有者や事業者等に的確に伝えるよう一層、周知に努めていきます。</p> <p>併せて、既存施設への支援も必要に応じて行っていきます。</p>	

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00230)

事務事業名称	介護老人保健施設の建設助成				款 04	項 01	目 07	事業 003	整理番号	222
現担当課名	高齢者施策課	係名	施設整備推進担当係			連絡先電話番号	3282	昨年度整理番号	236	
上位施策No・施策名	15 要介護高齢者の住まいと介護施設の整備						予算事業区分	既定事業		
事業開始	平成14年度	実行計画事業	目標 04	施策 15	計画事業 01					
令和 3年度担当課名	高齢者施策課						事業評価区分	一般		

令和 3年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	介護老人保健施設を区内に建設する医療法人等	根拠法令等 (1) (2)	介護保険法第8条第25項 杉並区介護老人保健施設整備費補助要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	リハビリテーション、看護、介護等の医療的ケアと日常生活上のサービスを併せて提供することにより、高齢者の自立を支援し、家庭復帰と在宅ケアを目指すことができるようにする。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	区内老人保健施設整備床数 (累計)
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	介護老人保健施設等を区内に建設する医療法人等に対して、建設費の助成及び独立行政法人福祉医療機構からの借入金の償還助成を行う。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	介護老人保健施設整備率 介護老人保健施設定員数を高齢者人口で除した割合

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 床	418	418	418	418	418	418	100.0	92.6
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3 %	0.35	0.36	0.35	0.36	0.35	0.00	97.2	
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	15,608	17,898	17,727	19,442	17,996	19,870	特記事項 成果指標の「介護老人保健施設整備率」の令和4年度目標値については、新規整備計画がないことから設定していません。	
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0		
(内) 委託費	7 千円	0	0	0	0	0	0		
職員数	8 人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10		
	9 人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10		
人件費	10 千円	872	872	850	850	834	834		
	11 千円	308	308	363	363	368	368		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	16,788	19,078	18,940	20,655	19,198	21,072		
単位当たりコスト ((12-6)÷1)	13 円	40,163	45,641	45,311	49,414	45,928	50,411		
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	16,788	19,078	18,940	20,655	19,198	21,072		
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (2)

令和 3年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 222

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	介護老人保健施設建設等助成		2	所
	その他 ()			
事業実績	区内2施設の事業者が独立行政法人福祉医療機構から借り入れた建設費に対し、区民利用率に応じて償還助成を行いました。			

令和 3年度 評価と課題 (C h e c k)

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 (期待・要望・苦情など)	区内における後期高齢者 (75歳以上の高齢者) 人口は、平成14年1月1日38,576人から令和4年1月1日64,470人と増加の一途を辿っています。また、要介護認定者数もそれに比例し、平成20年度末には14,968人であったところ、令和3年度末には25,719人と増加しています。 要介護高齢者が在宅生活を継続していくためには、リハビリテーションを主体とし、自宅への復帰を支援する施設である介護老人保健施設の役割が大きくなっています。
事業の今後 (3~5年) の予測と方向性	介護老人保健施設を整備する医療法人等に建設費の一部助成を行うことにより、区民の入所床数を確保しています。
計画 (目標値) に対する実績 (指標の分析等)	整備計画に基づく目標値は達成しており順調です。今後も引き続き適切に対応していきます。
評価と課題	介護老人保健施設を整備する医療法人等に建設費の一部助成を行うことで、区民が安心して在宅復帰を目指す施設の安定的な運営の支援とともに、区民の入所床数を確保することができました。引き続き、区民の利用状況に合わせて助成を続けます。 今後、既存の施設を含め、要介護高齢者の在宅生活への復帰及び継続のため有効な活用が課題となっています。

令和 5年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	今後も引き続き区民の利用状況に合わせて、建設費用の助成を行っていきます。	

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00234)

事務事業名称	都市型軽費老人ホームの建設助成				款	04	項	01	目	07	事業	024	整理番号	225	
現担当課名	高齢者施策課		係名	施設整備推進担当係			連絡先電話番号	3282		昨年度整理番号	240				
上位施策No・施策名	15 要介護高齢者の住まいと介護施設の整備								予算事業区分	既定事業					
事業開始	平成22年度	実行計画事業	目標	04	施策	15	計画事業	03							
令和 3年度担当課名	高齢者施策課								事業評価区分	一般					

令和 3年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	都市型軽費老人ホームを建設・運営する社会福祉法人、民間企業及び土地所有者等	根拠法令等 (1) (2)	社会福祉法第2条第2項第3号、老人福祉法第15条第5項 杉並区都市型軽費老人ホーム整備費補助金交付要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	身体機能の低下等により自立した日常生活を営むことについて不安があり、家族による援助を受けることが困難な高齢者が、低額な利用料で入所でき、日常生活における支援を受けながら生活できるようにする。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	都市型軽費老人ホーム整備定員数 (累計)
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	社会福祉法人、民間企業及び土地所有者等が整備する都市型軽費老人ホームに対し、整備費の一部を補助する。都市型軽費老人ホームを建設・運営する民間事業者等に対し、円滑な施設の開設を支援するために、開設準備に要する経費の一部助成を行う。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	都市型軽費老人ホーム整備率 都市型軽費老人ホーム定員数を一人暮らし高齢者人口で除した割合

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 人	60	80	60	100	60	60	60.0	特記事項 民間事業者に対し、都市型軽費老人ホームの整備に係る補助制度について周知、利用を促しましたが実績がなかったため減となっています。
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3 %	0.14	0.18	0.14	0.23	0.14	0.14	60.9	
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	87,668	250	96	188	0	188		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0		
(内) 委託費	7 千円	0	84	44	84	0	84		
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	0.30	0.30	0.20	0.30	0.20	0.20	
	上記以外の職員	9 人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	2,615	2,615	1,701	2,551	1,669	1,669	
	上記以外の職員	11 千円	308	308	363	363	368	368	
総事業費 (5+10+11)	12 千円	90,591	3,173	2,160	3,102	2,037	2,225		
単位当たりコスト ((12-6)÷1)	13 円	1,509,850	39,663	36,000	31,020	33,950	37,083		
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0	
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0	
	都からの補助金等	16 千円	87,600	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	87,600	0	0	0	0	0	
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	2,991	3,173	2,160	3,102	2,037	2,225		
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

令和 4年度杉並区事務事業評価表（ 2 ）

令和 3年度 事業実施状況（ D o ）

整理番号 225

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	実績なし			
	その他（ ）			
事業実績	<p>民間事業者に対し、都市型軽費老人ホーム整備に係る補助制度について周知を行いました。実績はありませんでした。</p>			

令和 3年度 評価と課題（ C h e c k ）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	<p>一人暮らし高齢者は平成22年1月1日34,045人、令和4年1月1日43,080人と増加の一途を辿っており、低額で利用できる介護施設や住まいの需要は高まると考えます。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>区内における高齢者人口は、今後もさらに増加することが予測されます。これに伴い、自立した日常生活に不安がある一人暮らし高齢者も今後増加することが見込まれます。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>いくつかの他事業者から相談があったものの、人材確保が困難等の理由から新規整備は進まず、目標値に達することはできませんでした。</p>
評価と課題	<p>今後も低所得で日常生活の支援を必要とする高齢者の増加が見込まれることから、一層の整備を促進する必要がある一方で、新型コロナウイルス感染症の影響や人材確保の困難さ等から、整備を進める事業者が少ないのが現状です。 土地所有者や運営事業者に対し社会福祉事業への理解が得られるよう、整備費の補助制度以外にも国や都が実施している運営支援制度についても周知していきます。</p>

令和 5年度の方針（ A c t i o n ）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）・実施主体の見直し
予算の方向性の理由・内容	<p>新たな実行計画に基づき、着実に都市型軽費老人ホームの整備を進めるために、土地所有者や運営事業者に対して、都の補助制度の周知等を図り、事業への理解を得ていくことで整備を促進していきます。</p>	

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00236)

事務事業名称	小規模多機能型居宅介護事業所の建設助成				款 04 項 01 目 07 事業 086	整理番号	227	
現担当課名	高齢者施策課	係名	施設整備推進担当係		連絡先電話番号	3282	昨年度整理番号	242
上位施策No・施策名	15 要介護高齢者の住まいと介護施設の整備				予算事業区分	既定事業		
事業開始	平成22年度	実行計画事業	目標 04	施策 15	計画事業 02	主要事業 (区政経営報告書掲載事業)		
令和 3年度担当課名	高齢者施策課				事業評価区分	一般		

令和 3年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	小規模多機能型居宅介護事業所及び看護小規模多機能型居宅介護事業所を建設・運営する民間企業、社会福祉法人等	根拠法令等 (1) (2)	介護保険法第8条第19項 杉並区地域密着型サービス拠点等整備費補助金交付要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	介護を必要とする高齢者が、通所サービス・宿泊サービス・訪問介護 (看護) サービスを受けることにより、引き続き住み慣れた自宅や地域の中で24時間365日、安心して暮らすことができる。介護している家族の負担を軽減する。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	(看護) 小規模多機能型居宅介護事業所定員数 (累計)
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	民間企業、社会福祉法人等が整備する小規模多機能型居宅介護事業所及び看護小規模多機能型居宅介護事業所の整備費の一部を補助し、当該施設の整備を図る。 小規模多機能型居宅介護事業所及び看護小規模多機能型居宅介護事業所を建設・運営する民間事業者等に対し、円滑な施設の開設を支援するために、開設準備に要する経費の一部助成を行う。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	(看護) 小規模多機能型居宅介護事業所整備率 (看護) 小規模多機能型居宅介護事業所定員数を高齢者人口で除した割合

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 人	331	414	306	472	344	360	72.9	99.4
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3 %	0.28	0.34	0.25	0.39	0.28	0.29	71.8	
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	216,871	77,619	76,746	53,493	53,193	0	特記事項	
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	天沼三丁目区有地に整備した看護小規模多機能型居宅介護事業所の工事出来高が令和2年度は64%だったのに対し、令和3年度は35%だったことから事業費は減となっています。	
(内) 委託費	7 千円	0	0	0	0	0	0		
職員数	8 人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20		
上記以外の職員	9 人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20		
人件費	10 千円	1,744	1,744	1,701	1,701	1,669	1,669		
上記以外の職員	11 千円	616	616	726	726	735	735		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	219,231	79,979	79,173	55,920	55,597	2,404		
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	662,329	193,186	258,735	118,475	161,619	6,678		
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	170,223	0	0	49,199	49,199		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	170,223	0	0	49,199	49,199	0	
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	49,008	79,979	79,173	6,721	6,398	2,404		
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (2)

令和 3年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 227

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	天沼三丁目区有地看護小規模多機能型居宅介護整備費補助	1	所	29,237
	天沼三丁介護施設等定期借地権設定契約一時金補助	1	件	15,905
	天沼三丁目区有地看護小規模多機能型居宅介護開設準備経費補助	1	所	8,051
	その他 ()			
事業実績	天沼三丁目区有地の事業者に対し、工事出来高に応じて建設助成を行うとともに、定期借地権設定契約の一時金に対する補助及び開設準備に係る費用の一部について補助金を交付しました。			

令和 3年度 評価と課題 (C h e c k)

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 (期待・要望・苦情など)	区内における後期高齢者人口は、平成14年1月1日現在38,576人であったところ、令和4年1月1日現在で64,470人と増加の一途を辿っています。 在宅介護を支えるため、身近な地域で通所、宿泊、訪問介護 (看護) の各種サービスが受けられることが求められています。
事業の今後 (3~5年) の予測と方向性	区内における後期高齢者人口は、今後も増加することが予測されます。それに比例して在宅での介護件数の増加も想定されます。そのため、在宅介護を支えるのに有効なサービスである (看護) 小規模多機能型居宅介護事業所の需要は増加すると見込まれます。
計画 (目標値) に対する実績 (指標の分析等)	特別養護老人ホームに併設の看護小規模型居宅介護事業所1か所を開設することができました。また、既存施設の定員変更に伴う増員もありましたが、人材確保や単独での安定的な事業運営が難しいことなどの理由から事業者の参入が進まず、目標値に到達することはできませんでした。
評価と課題	令和3年度は看護小規模多機能型居宅介護事業所を1所開設することができました。この施設は高齢者や家族にとって、在宅介護を継続するための有効なサービスですが、単独での安定的な事業運営が難しいことから民間事業者の参入が進まない状況です。 今後は地域バランスを考慮しながら、事業者等に対して認知症高齢者グループホームや都市型軽費老人ホーム等との併設を提案していくとともに、補助制度等の情報提供を行うことで施設整備を進めていきます。

令和 5年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	在宅介護を継続するための有効なサービスであることから、事業者に対し、都の補助制度を周知するなど、参入を促していきます。また、日常生活圏域で (看護) 小規模多機能型居宅介護事業所がない圏域を優先するなど、整備にあたっては地域バランスを考慮しながら進めていきます。	